



吉敷の木  
「もみじ」



吉敷の花木  
「うめ」



吉敷の草花  
「マリゴールド」



吉敷の草花  
「サルビア」

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2021

9

No. 786



吉敷地域のマスコット「ホウちゃん・ベンちゃん」



新日本百名山の一座・東鳳山  
登山口に石柱を設置しました



アタックNo.1!県大会出場へ  
吉敷バレースポーツ少年団

## CONTENTS

インフォメーション…… 2

【トピックス◎】  
ご存じですか?  
9月は世界アルツハイマー  
月間です!…… 3

【トピックス◎】  
「ゾーン30」での法定速度を  
厳守しましょう…… 3

【トピックス◎】  
「コミタク良城」の運行計画の  
見直しが行われています…… 4

【トピックス◎】  
大野将平選手  
重圧を乗り越え獲得した「金」…… 5  
レポート…… 5

【シリーズ歴史◎】  
吉敷の庄屋「野村家文書」と一里塚…… 6  
読者発なんでも広場…… 7

リレーエッセイ…… 7

イベントカレンダー…… 8

かけはし…… 8

よしき人

YOSHIKI  
DATA

【人口】14,698(前月比 -16) 【世帯数】6,374(前月比 -8)

令和3年8月1日現在



# インフォメーション

行事等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから中止または延期となる場合がありますので、予めご了承ください。

## 育児相談

お子様の身体測定や、育児・離乳食に関することなど、保健師と栄養士が相談をお受けします。お友達づくりを兼ねて気軽にお越しください。

【とき】9月8日(水) 13時30分～14時30分(受付時間)

【場所】地域交流センター 和室

【申込】不要

【準備】母子健康手帳

【問い合わせ】子育て保健課

☎083-921-7085

## 市有林 松茸山の入札

次のとおり松茸山の入札を行います。

【とき】9月27日(月)10時～

【場所】吉敷地域交流センター 会議室

【条件】吉敷地域在住で市税の滞納の無い方に限ります。

【提出物】市税の滞納の無いことの証明書

※当日お持ちください。

【入札保証金】当日は、入札金額の100分の5以上に相当する額をご用意ください。

【問い合わせ】市農林政策課

☎083-934-2819

## 子育て講座(魚食)

新鮮なお魚をさばいてお子さんと一緒に食べてみませんか。講師の先生が丁寧に教えてくださいます。

新型コロナウイルス対策で調理は保護者のみ、試食は講堂で親子一緒にいただきます。

【とき】9月29日(水)10時～12時

【場所】地域交流センター 調理室・講堂

【講師】キッチンcaféさわフードコーディネーター 佐々野 恭子氏

【対象】未就園児の保護者12組(先着順)

【参加費】一組200円

【準備】エプロン、三角巾、マイ箸、飲み物、手ふき用タオル

【託児】有(要申込)

【主催】母子保健推進員

【問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-3915



昨年の様子

## 空家実態調査(現地調査)について

市では空き家の状況を把握するため、9月中旬から約3ヶ月間、市内の空き家の実態調査を実施します。調査は、市が委託している株式会社ゼンリンが、市から支給された調査員証を携帯し、外観目視で行いますが、写真撮影やご近所の方にお話を伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

【とき】9月中旬～12月中旬の平日昼間(予定)

【場所】山口市内全域

【対象】居住等の使用がなされていないことが常態であると思われる建物

【問い合わせ】市生活安全課空家対策室

☎083-934-2915

## ため池ハザードマップについて

市では、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」の施行に伴い、県が指定した特定農業用ため池のハザードマップ作成を進めており、市ホームページおよび地域交流センターで閲覧できます。日頃から、浸水想定区域や避難場所を確認するなど、迅速な避難行動や災害応急対応を行えるよう心がけましょう。

市ホームページため池ハザードマップ

<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/65/102315.html>

【問い合わせ】市農林整備課整備担当

☎083-934-2825



## 人権啓発標語の募集

吉敷地域では、誰もが自分らしく、お互いに思いやりをもって明るく暮らせるふるさとづくりを目指しています。人権尊重の意識高揚を図るため、人権に関する標語を募集します。

【テーマ】人への思いやり・優しさにあふれ、命の大切さを表現したもの

【規定】文字数は20字以内。一人一点まで。応募標語は未発表で、他に応募していないものに限ります。

【応募方法】応募標語、住所、氏名、年齢、連絡先を明記し、標語に込めた思いを添えて、地域交流センターまでお持ちください。(様式不問)

【応募締切】11月30日(火)

【発表・表彰】入選者の発表は「ふるさとだよりよしき」1月号で行う予定です。令和4年2月開催予定の吉敷地区人権学習推進大会において表彰します。

なお、優秀作品は、懸垂幕への掲示等の人権啓発活動に使用させていただきます。

【主催・申込】人権学習推進協議会

☎083-922-3344



今年の懸垂幕と作者の磯崎さん



## ご存知ですか? 9月は 世界アルツハイマー月間です!

山口市鴻南地域包括支援センターからのお知らせです。

9月は「世界アルツハイマー月間」であり、世界中で認知症の啓発活動が行なわれています。山口市でも認知症学習会や瑠璃光寺五重塔ライトアップ、山口地区認知症を支える家族の会と協力した街頭キャンペーンを行っています。

今年は新たに市内の図書館で啓発活動を行い、吉敷地域交流センター2階廊下と図書室でも認知症関連の取組みや図書の紹介をします。ぜひご覧下さい。

### 認知症が心配になった 時に大切なこと



認知症は、誰にも起こりうる脳の病気です。正しい知識を持ち、早期に診断を受け、これからのことを一緒に考えていきましょう。

- 一、かかりつけ医や専門医に相談
- 二、認知症の状態を正しく知る  
(症状や今後の見通しを理解)
- 三、相談機関へ相談
- 四、仲間を見つければ一人で抱え込まない
- 五、認知症予防に取組み、備える(講座等を受講し知識を深め生活に取り入れる)

### 認知症を正しく知るための 取り組みの紹介

①認知症サポーター養成講座  
認知症の基礎知識や対応の心得を知り、地域で支えるサポーターとしての役割を学びます。

#### ②認知症カフェ

認知症の方やご家族  
誰もが気軽に集まり、  
話や相談が出来る場です。



③啓発冊子「もしも気になるようでしたらお読みください」を設置

かかりつけ医や交流センター等に置かれていた冊子です。手に取りやすいように、認知症という言葉を作るべく使わない絵本のようなものです。ぜひご覧ください。



【問い合わせ】山口市鴻南地域包括支援センター

身近な相談場所です。訪問や電話での相談に対応します。お気軽にご連絡下さい。

☎083-934-3333



## 「ゾーン30」での法定速度を 厳守しましょう

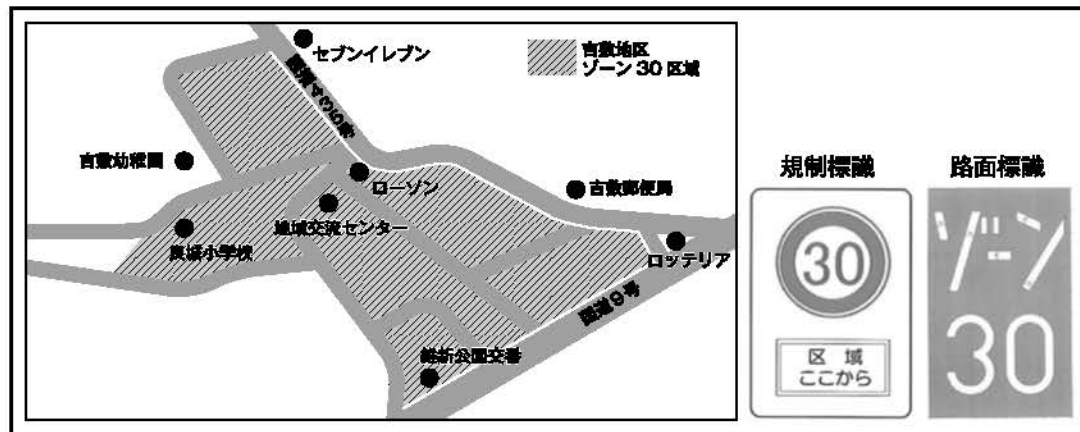
「ゾーン30」とは、通学路や生活道路が集積している地区を「ゾーン」として設定し、区域内道路を時速30キロに規制するものです。歩行者の安全確保、車の速度を抑制する対策を行うなど、警察と道路管理者が協力して歩行者優先の道路環境を構築することで、各種交通事故防止策を行うことを目的としています。

吉敷地域での「ゾーン30」導入については、地区交通安全・防犯対策協議会が中心となって計画し、平成28年10月から施行されました。吉敷地域では、市内の他地域と比較してもかなり広いエリアがゾーンに設定されています。

### 「交通事故0」を目標に

吉敷地域での「ゾーン30」施行当時の平成29年度には交通事故死者数が5人にのぼりました。しかしその後、ゾーン30施行を含めた交通安全啓発活動の成果もあり、当時と比較すると交通事故死者数は減少傾向にあります。

地域ぐるみで「交通事故0」を達成するため、「ゾーン30」区域を走行される際は特に周りをよく見ながら、ゆとりを持った運転をするよう心がけましょう。





## 10月1日の開始に向けて「コミタク良城」の運行計画の見直しが行われています

「コミタク良城」の5月から7月までの乗車率が一割程度に止まっており、このままでは、本格運行への移行が難しい状況になっています。

このため、吉敷地域コミュニティタクシー実行協議会では、「コミタク良城」の利便性の向上を図るため、計画の見直しを行うこととしています。

山口市地域公共交通会議の承認後、運輸局の認可を経て、10月1日から実施する予定です。

### 循環するルートから目的地を往復するルートに変更

現在、旧出張所・公民館跡地を起終点として、左回りと右回りに循環しているルートを、起終点や停留所は変えずに途中で折り返して、スーパードなどの目的地を往復するルートに変更することを検討しています。

### 佐畑・木崎と赤田・上東・中村の2つのルートを設定

コミュニティタクシーを2台体制として、佐畑・木崎と赤田・上東・中村の2つのルートを設定することを検討しています。どちらのルートにもマックスバリュ吉敷店、カフェファディ山口店を組み込むこととしています。

### 農産物直売所「ぶちええ菜」が折り返し点

JA山口県中央支所の農産物直売所「ぶちええ菜」を折り返し点として考えています。

折り返し点であるJAぶちええ菜からの帰りの便は20分後に出発することになっています。

その間に買い物をすることもできます。

### 「コミタク良城」の利便性が向上します

目的地を往復するルートになり、スーパードなどにおける帰りの便が来るまでの時間が短縮されます。

また、利用の仕方が、とても分かりやすくなります。

### 新しい時刻表が全世帯に配布されます

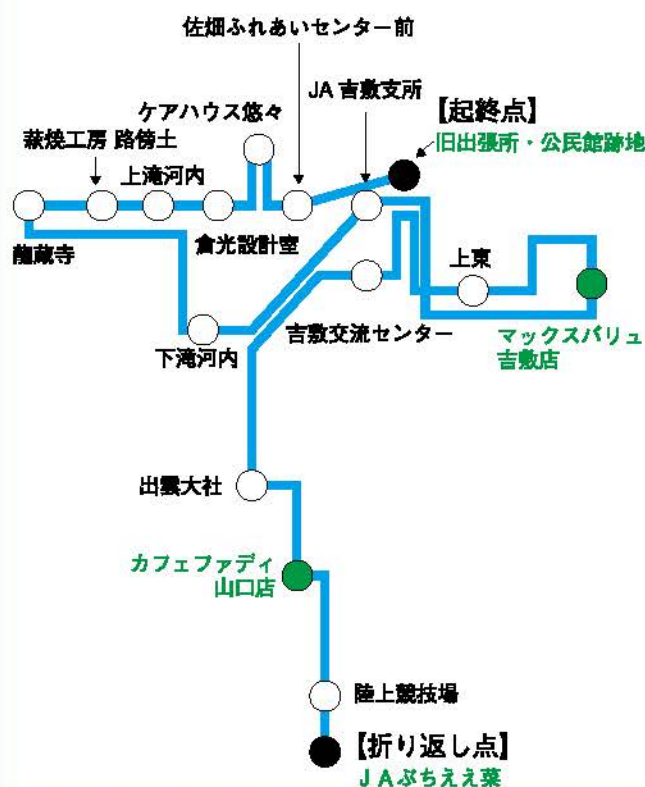
今回の変更を踏まえた新しい時刻表を作成し、吉敷地域の全世帯に配布する予定です。

時刻表には、それぞれのルートの往路と復路の時刻をわかりやすく掲載します。

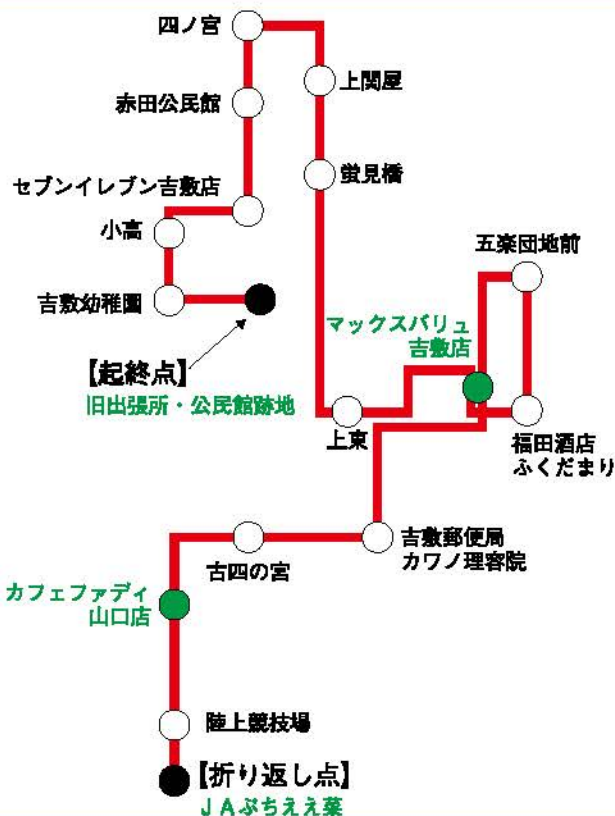
時刻表は、10月1日号の市報と合わせて配布される予定です。

## 2つの往復するルートを設定

### 佐畑・木崎ルート



### 赤田・上東・中村ルート





## 大野将平選手 重圧を乗り越え獲得した「金」

一年の延期を経てついに開催された2020東京オリンピック。吉敷のヒーロー大野将平選手は、柔道男子73kg級で2016年リオデジャネイロオリンピックに続き見事連覇を果たしました。

量の上での堂々とした戦いぶりの一方で、金メダル獲得後のインタビューでは「苦しくて、つらい日々を凝縮したような、そんな一日の戦いでした」と表現し、重圧の中で戦ってきた胸の内を少しだけ明かしました。

### 「敵は自分自身」

### 重圧を乗り越えて得た勝利

決勝での勝利後も量を降りるまでは一切笑顔を見せず、対戦相手に対し深く一礼した大野選手。相手に最大限の敬意を払うその姿は、世界中から称賛を受けました。

そんな大野選手が「何のために稽古をやっているのだろう」と自問自答する日々だった」と語るほど、リオ大会以降に背負ってきた重圧は想像を絶するものであったようです。その中で、リオ大会で強さを誇った自分自身に並び、そして上回っていく、「柔道人生で最強の大野将平」をひたすら求めてきました。その集大成をこの日、東京・日本武道館で体現し、その姿を世界に見せつけました。

### 感動をありがとう！

2大会連続の金メダル獲得、本当におめでとうございませう！

「我々アスリートの姿を見て、何か心が動く瞬間があれば、本当に光栄に思います。」と話した大野選手の言葉どおり、強さ、礼儀正しき、勝つてなお己を見つめ直す真摯な姿勢や立ち居振る舞いに、本当に多くの人が感銘を受けました。

ひととき心と体を休めた後、次の目標に向けた戦いを開始した晩には、また我々に感動と興奮をもたらしてくれることと思います。

今大会では、コロナ禍のためバブルックビューイング等の開催はかきませんでしたが、後援会の応援活動に対して真心の募金や協力をしてくださった方々、大いに応援し盛り上げてくださった地域の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



写真提供: 共同通信社

FURUSATO DAYORI YOSHIKI  
REPORT

## レポート

### 充実した夏休みに！

地域交流センターでは、小学生を対象とした夏休み講座を開催しました。

7月27日(火)、28日(水)には子ども絵画教室(講師: 吉敷美術部)を開催。思い思いに楽しく絵を描き上げました。



8月5日(木)の「ロボットプログラミング de Y.Y.」(講師: 豊野晃大氏)では試行と修正を繰り返して、ロボットがゴールまで進むためのプログラムを作成しました。

7月24日(土)のゆかた着付け教室(講師: 田中美代子氏)、8月10日(火)のレザークラフト教室(講師: 中岡佑輔氏)にもたくさんの方々が参加があり、各自充実した夏休みになったようです。



### 子どもの力で花いっぱい！

8月12日(木)、「吉敷地区子ども会花壇コンクール」の審査が行われました。

子ども会等が力を合わせて作った花壇はどれも力作ぞろい。どの花壇も、連日の猛暑にも負けずきれいな花を咲かせていました。

結果は中村子ども会が最優秀賞、上東子ども会が優秀賞に輝きました。おめでとうございませう！



### 人気上昇中！

吉敷が進める生活の中での「ながら見守り」活動の一環として活用が進んでいる大人気マスコットキャラクター「ボウちゃんペンちゃん」のぬいぐるみチャームもできました！

地域づくり協議会事務局にて1つ200円で販売中！  
(吉敷地域ふれあいネットワーク協議会)

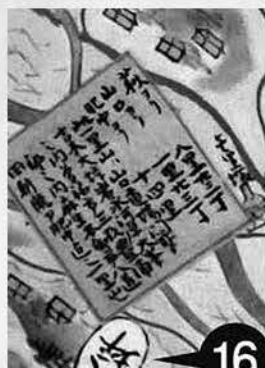


## 吉敷の庄屋「野村家文書」と一里塚

江戸時代の肥中街道の様子が見がえる貴重な資料に遭遇いたしましたから紹介します。

文化振興協議会の古文書輪読会で吉敷の庄屋「野村右衛門」さんの日記を読み解いていた際、安永2年(1773)2月19日の記事に長州藩絵図方のお役人が登場しました。野村右衛門とお役人平田、有馬両氏のやり取りにびっくりしました。関屋地区の肥中街道沿いにあった一里塚に関するものでした。この一里塚は享保の吉敷村絵図に記載されています。(吉敷さんば104、107ページ参照)

長州藩の絵図研究の第一人者である県立山口博物館の山田さんに「野村家文書」の一里塚に関する部分の解説をしていただいたのでその内容を掲載いたします。



「吉敷さんば」P107の拡大図D

絵図方平田仁左衛門・有馬八兵衛来村の事

(諸控) 野村家文書28 山口県文書館蔵

安永貳巳ノ二月十九日、絵図方御役人平田仁左衛門様、有馬八兵衛様、長小野ノ方より御通路にて、西方便え御登り被成、畑村ニ御止宿被成候時分、関合宅里塚及中絶、銘不相分之處、絵図方へ申入候へは、根長幅御見合せ被成、手札御渡方相成、早々仕調候様ニと御申渡し候事、右之銘肥中浦より十四里、山口道場門前より宅里廿三町と有之候事

(現代語訳)

安永二年(一七七三)二月十九日、絵図方役人・平田仁左衛門様と有馬八兵衛様が、長小野(萩市佐々並長小野)を通られて、西鳳凰山に登り、畑村(山口市吉敷畑)に泊まられた時、関谷の一里塚が途絶えてしまい、(塚木の)銘文が分からないと、絵図方に申し入れたところ、台帳の数字を調べて書いた紙を渡され、

これで早々に(塚木を)作製するようにと申し渡された。そこには、肥中浦より十四里、山口道場門前より一里二十三町と記されていた。

(解説)

萩藩の絵図方役人・平田仁左右衛門と、郡方地理図師・有馬八兵衛(有馬喜惣太の養嗣子)が、現地視察のために出張して、吉敷村畑に宿泊した際に、不明となっていた関屋一里塚の塚木の復旧を指示されたもの。萩藩の一里塚は、石盛りで塚を作り、上に里程を記した塚木が立てられていた。塚木の材料は御立山(藩有林)から提供され、管理は各村に任されていた。

絵図方の村絵図作製事業は、享保十二年(一七二七)から寛延三年(一七五〇)頃まで、二十数年の長い年月をかけて、一応の完成を見たが、その後も幕末に至るまで、絵図の追加や修正が行われた。

この記事が書かれた安永二年時点で、すでに吉敷村の絵図(清図)は完成していたと思われる。この平田らの出張が、村絵図に関するものか、はたまた他の絵図に関するものかは定かでないが、彼らの

具体的な仕事ぶりがよく分かる貴重な記録である。

絵図方は、防長の里程に関する台帳(道帳)を所持しており、関屋一里塚の場合も、台帳のデータを示したものであろう。当時の関屋一里塚の状況がわかるとともに、肥中街道が、藩の公務で使われた事例として、たいへん興味深い内容である。



古文書輪読会の様子

以上のように江戸時代、長州藩には道路台帳が作られていて、肥中街道についても道路延長や一里塚の位置などの記録があったことが分かります。藩政に与ったことの重要性もうかがえます。絵図方役人の平田、有馬両氏と庄屋の野村さんの当時の会話が生き生きと伝わってくるような気がします。

以上で肥中街道関屋の一里塚の話が終わります。この度設置した肥中街道の道標をたよりに、どうぞ皆さんで街道を歩いてみてください。(文化振興協議会会長 松原清)

なんでも  
広場

## 人優先の交通安全

吉敷地域に存在する横断歩道は全部で44箇所あり、そのうち信号機(手押し信号含む)のある横断歩道は18箇所というデータ(提供:山口署)があります。泉町から木崎まで国道9号の両サイドに広がる地域ゆえ幹線道路が多く存在するので、横断歩道の数が多いのは当たり前かもしれません。

数の多さにも驚きましたが、もっと驚いたのが信号機のない横断歩道の多さです。

読者の皆さんご存じだとは思いますが、道路交通法では、信号機のない横断歩道で歩行者が横断をしようとしている時は、必ず停止線で車両は停止しなければ罰則の対象となります。なおかつ横断歩道近くに歩行者がいて横断するかもしれないと予測される時は、徐行(すぐに停止できる速度)するよう規定されています。

頭の中では法規を理解していても朝の通勤通学時間帯など急がれ

ている時など、この人優先の考え方が車優先の症状となる光景をよく目にするのは私だけでしょくか?

そこで季語のない俳句を一句。「優先は横断を待つ吉敷人」



広報委員会 植野

## 公園の花園

上東第2公園の子ども会花壇は、季節ごとの花が咲きみだれ、公園利用者や通りすがりの人たちの眼をなくさめ心をいやす花園です。



桂田昌垣(上東)

## リレーエッセイ

Relay Essay

016

まつばら きよし  
松原 清さん(稲葉)

7月になるととうとう梅雨があけて夏がやってきます。私はこの時期になると必ず郷里の盂蘭盆の行事を思い出します。ものごころついた頃から毎年、山にある墓地でやぶ蚊に悩まされながら二日ばかりで難儀な墓掃除に取り組みました。我が家の過去帳の記事の中で鬼籍に入っている一番古い人が万治3年(1660)です。だから墓の基数が50近くになり時間を要する作業でした。

お盆に入ると父に連れられ親戚へ出向き、仏壇に手を合わせた後うまいものを食べさせてもらいながら、叔父叔母従兄妹などの談笑で墓掃除のつらさは吹っ飛び癒されたものでした。

祖父母の臨終を座敷で一緒に見送ることもできたなんといっても親戚一族なのです。こんな一族の構成員としてわが家族が暮らせたらいいのにと思う

ささやかな願いはどうしてかなわなくなったのだろう。

親戚同士が、ましてや家族同士が、日々かわり合うことなく過ごすことが当たり前になった今の暮らしを、私の勝手気ままな一人暮らしが始まったころから疑って考え始めています。

幸せな暮らしとはどういうことなのか、もつれた糸を解きほぐせるのか、いやどうして解きほぐすのか考え始めたところですが、そう簡単にはいきそうにもなく答えが出せないことも覚悟する必要があるかもしれないと思っているこのごろです。



地域文化振興協議会で日々活動中



|      |                                  |  |
|------|----------------------------------|--|
| 1 水  |                                  |  |
| 2 木  | ●町内会長会 18:30～                    |  |
| 3 金  |                                  |  |
| 4 土  | ●楽楽楽「パパと子どものピザ作り」 10:00～12:00    |  |
| 5 日  | ●東京パラリンピック閉会式                    |  |
| 6 月  | ●広報委員会 17:00～                    |  |
| 7 火  | ●あいさつの日                          |  |
| 8 水  | ●育児相談 13:30～14:30(受付時間) P.2      |  |
| 9 木  |                                  |  |
| 10 金 |                                  |  |
| 11 土 | ●レノファ山口 VS FC町田ゼルビア 19:00～(みらスタ) |  |
| 12 日 |                                  |  |
| 13 月 | ●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～               |  |
| 14 火 |                                  |  |
| 15 水 |                                  |  |
| 16 木 |                                  |  |
| 17 金 |                                  |  |
| 18 土 | ●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00        |  |

|      |                                                                                           |  |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 19 日 | ●吉敷ベタンク交流大会 8:30～                                                                         |  |
| 20 祝 | ●敬老の日                                                                                     |  |
| 21 火 |                                                                                           |  |
| 22 水 |                                                                                           |  |
| 23 祝 | ●秋分の日                                                                                     |  |
| 24 金 |                                                                                           |  |
| 25 土 | ●レノファ山口 VS V・ファーレン長崎 19:00～(みらスタ)                                                         |  |
| 26 日 | ●吉敷川野草散策「秋の野の花を楽しもう」 9:00～12:00                                                           |  |
| 27 月 | ●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00<br>●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～<br>●ブックスタート体験会<br>●市有林 松茸山の入札 10:00～ P.2 |  |
| 28 火 |                                                                                           |  |
| 29 水 | ●子育て講座「魚食」 10:00～12:00 P.2                                                                |  |
| 30 木 |                                                                                           |  |

## 10月のおもなイベント

4 月 あいさつの日

24 日 参議院議員補欠選挙  
山口市長選挙

28 木 肺がん検診

### 「人生設計の変更」

60歳の時に残りの人生30年の計画をざっと立ててみました。健康寿命25年その後健康寿命5年として90歳で大往生する計画です。しかし、今思うと何をしたのかも解らず、あつという間の10年。これで残りの健康寿命15年はありませんにも短すぎる。実父は78歳で逝去しました。不健康寿命が長かったのが家族も大変であったと思います。家族には迷惑をかけないように、父を反面教師として過ごして行きたいと思っています。

地域を見渡しても元気な先輩諸氏は沢山います。グラウンドゴルフ仲間では、私は下から2番目でまだまだヒヨッコです。90歳を過ぎた方や大病を克服した方など様々で、こんな若造に負けてなるものかと、はつらつとプレーする姿を見ると反省させられます。やはり、多くを経験した人は途轍もなく強い。

60歳の時に周囲を見ても知らない人や知らない事ばかりでした。取敢えず知る事を目標として様々な場面に挑戦してみると、多くの人に出会うことが出来ました。これからは、更に多くの人と出会う事が楽しみです。

最近、人生100年時代と言われる時代になりました。計画の見直しが必要になってきたのかと思つこの頃です。

広報委員 林隆一

### 【発行・編集】

吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)  
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)  
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)  
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック  
<https://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

